



各位

2026年1月8日

会社名株式会社 ディスコ  
代表者名代表執行役 関家一馬  
社 長  
(コード番号：6146 東証プライム市場)  
問合せ先 I R 室 長 木場竜一郎  
(TEL 03-4590-1111 (代表))

## 2026年3月期 第3四半期 個別売上高および出荷額の速報値に関するお知らせ

個別売上高および出荷額の概数を速報値として、下記の通りお知らせいたします。

記

### ■ 2026年3月期（2025年度）個別売上高 四半期推移

(金額の単位：億円)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	通期
売上高	754	853	1,608	880	-	-	-
前年同期比 YoY	10.1%	2.5%	5.9%	13.8%	-	-	-
前四半期比 QoQ	-26.4%	13.1%		3.1%	-		
(ご参考) 2025年3月期（2024年度）	685	833	1,518	773	1,025	1,799	3,318

第3四半期累計期間（4-12月期）の個別売上高は2,489億円となり、直近の個別業績予想（売上高2,350億円）に対し105.9%の達成率となりました。

当社は、精密加工装置等の機械製品について売上計上のタイミングを検収時としております。  
そのため、売上高は市場の動きと乖離する傾向があることから、より市場との運動性が高い「出荷額」を参考情報として下表の通り開示いたします。

### ■ 2026年3月期（2025年度）個別出荷額 四半期推移

(金額の単位：億円)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	通期
出荷額	930	774	1,705	901	-	-	-
前年同期比 YoY	8.5%	-8.5%	0.1%	-0.8%	-	-	-
前四半期比 QoQ	21.5%	-16.7%		16.3%	-		
(ご参考) 2025年3月期（2024年度）	857	846	1,704	908	766	1,674	3,378

第3四半期（10-12月期）の個別出荷額は901億円（YoY:0.8%減、QoQ:16.3%増）となりました。  
精密加工装置の出荷額は、生成AI向け需要を中心に高水準で推移したことから前四半期比で増加しました。消耗品である精密加工ツールの出荷額は、顧客の設備稼働率などに連動して高水準の需要が継続したことから四半期最高を記録しました。

2026年3月期 第3四半期における決算業績の発表は1月21日に行う予定です。

速報開示とは：

速報開示とは、投資家の皆様に対し当社業績に関するリアルタイムでの情報提供を行うことを目的とし、四半期ごとに個別売上高・出荷額が判明した時点で、速報値として任意に開示をするものです。なお上記の速報値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成した監査終了前のものであり、実際の業績は監査法人の精緻な監査による指摘により速報値と異なる可能性があります。

以上